

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名	洗い油添加剤
会社名	株式会社MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ
整理番号	M220704

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	爆発物	分類対象外	
	可燃性ガス	分類対象外	
	エアゾール	分類対象外	
	酸化性ガス	分類対象外	
	高压ガス	分類対象外	
	引火性液体	区分外	
	可燃性固体	分類対象外	
	自己反応性化学品	分類対象外	
	自然発火性ガス	分類対象外	
	自然発火性液体	区分外	
	自然発火性固体	分類対象外	
	自己発熱性化学品	分類できない	
	水反応可燃性化学品	分類対象外	
	酸化性液体	分類対象外	
	酸化性固体	分類対象外	
	有機過酸化物	分類対象外	
	金属腐食性化学品	分類できない	
	鈍性化爆発物	分類対象外	
	健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分外
		急性毒性 (経皮)	区分外
急性毒性 (吸入: ガス)		分類できない	
急性毒性 (吸入: 蒸気)		分類できない	
急性毒性 (吸入: 粉じん)		分類できない	
急性毒性 (吸入: ミスト)		分類できない	
皮膚腐食性/刺激性		区分外	
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性		区分1	
呼吸器感作性		分類できない	
皮膚感作性		分類できない	
生殖細胞変異原性		分類できない	
発がん性		分類できない	
生殖毒性		分類できない	
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)		分類できない	
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)		分類できない	
誤えん有害性		分類できない	
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分2	
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分3	

オゾン層への有害性

分類できない

GHS ラベル要素



絵表示又はシンボル:

注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

- ・重篤な眼の損傷 (H318、眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 区分1)
- ・水生生物に毒性 (H401、水生環境有害性 短期(急性) 区分2)
- ・長期継続的影響によって水生生物に有害 (H412、水生環境有害性 長期(慢性) 区分3)

注意書き:

【一般】

- ・医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルを持っていくこと。(P101)
- ・子供の手の届かないところに置くこと。(P102)
- ・使用前にラベルをよく読むこと。(P103)

【安全対策】

- ・環境への放出を避けること。(P273)
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

【応急措置】

- ・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
- ・直ちに医師に連絡すること。(P310)

【保管】

- ・子供の手の届かないところに施錠して保管すること。
- ・直射日光の当たる所、温度が40℃以上又は0℃以下の所、水のかかる所、湿気の多い所は避けて保管すること。
- ・容器を正立で保管すること。
- ・火気、熱源より遠ざけること。火気厳禁。
- ・車載保管しないこと。

【廃棄】

- ・内容物/容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

成分	含有量(%)	化審法 No.	CAS. No.	備考
ポリ (オキシエチレン) =アルキルエーテル	100.0	7-97	84133-50-6	PRTR 法該当
合計	100.0			

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
成分及び含有量

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。呼吸が止まっている場合は、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。体を毛布などでおおい、保温して安静を保つ。直ちに医療措置を受ける手配をする。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。必要であれば切断する。製品に触れた部分を水又は微温湯を流しながら洗浄する。石鹸を使ってよく落とす。外観に変化がみられたり、痛みが続く場合は直ちに医療措置を受ける手配をする。

- 眼に入った場合 : 清浄な水で最低 15 分間目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受けること。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水でよく行きわたるように洗浄する。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する。可能であれば、指をのどに差し込んで吐き出させ、直ちに医療措置を受ける手配をする。被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。
- 応急措置をする者の保護 : 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火剤、二酸化炭素、砂、霧状水
- 使ってはならない消火剤 : 特になし。火災危険性：燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業際には煙の吸入を避ける。
- 消火方法 : 消火作業は、可能な限り風上からおこなう。周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。周囲の設備等に散水して冷却する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。関係者以外は安全な場所に退去させる。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 一般的措置 : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。こぼれた場合はすべりやすいために注意する。多量の場合、人を安全に待避させる。漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。

環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項 : 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 封じ込め方法 : 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに、消火剤を準備する。床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。漏出物の上をむやみに歩かない。火花を発生しない安全な用具を使用する。
- 浄化方法 : 少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)に吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : ”ばく露防止及び保護措置”の章を参照。設備対策を行い、保護具を着用する。
- 安全取扱注意事項 : 火気厳禁。取扱いは、換気のよい場所で行う。保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
- 接触回避 : データなし。取扱い

保管

- 安全な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 安全な容器包装材料 : 製品使用容器に準ずる。

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策 : 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。取扱いの場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

- 呼吸用保護具 : 通常の使用条件下では、呼吸保護具は必要ではない。
- 手の保護具 : 保護用手袋
- 目の保護具 : 保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観・臭気 : 無色から淡黄色透明液体で、穏やかな特異臭を有する。

pH	: 5～7 (1%水溶液)
粘度 (25℃)	: 52 mPa・s
沸点	: 250℃以上
融点	: 0℃以下
揮発性	: データなし
引火点	: 220℃ (クリーブランド開放式)
発火点	: データなし
爆発範囲	: データなし
可燃性	: データなし
比重 (25/4)	: 約 0.99
溶解性 (水)	: 自由に溶混和する。

10. 安定性及び反応性

反応性	: 自己重合性なし。通常の取扱いにおいては安定である。
化学的安定性	: 熱、光、衝撃に対して安定である。ただし、40° C 以上の高温及び直射日光 下での長期放置は品質劣化を起こすので避けること。
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない
急性毒性 (経皮)	: 区分に該当しない
急性毒性 (吸入)	: データなし
急性毒性 (吸入)	: 分類できない (気体)
	分類できない (蒸気)
	分類できない (粉じん、ミスト)
皮膚腐食性/刺激性	: 区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 重篤な眼の損傷
呼吸器感受性	: 分類できない
皮膚感受性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 分類できない
誤えん有害性	: 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期 (急性)	: 水生生物に毒性
水生環境有害性 長期 (慢性)	: 長期継続的影響によって水生生物に有害
オゾン層への有害性	: 分類できない

13. 廃棄上の注意

内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。
 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険、有害性を十分告知の上処理を委託すること。

14. 輸送上の注意

注意事項：取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

国内規制：

- 陸上輸送： 消防法、労安法等に定められている運送方法に従う。
- 海上輸送： 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
- 航空輸送： 航空法に定められている運送方法に従う。

15. 適用法令

- 労働安全衛生法： 該当なし
- 消防法： 危険物 第四類引火性液体 第四石油類 (水溶性) 危険等級Ⅲ
- 毒物及び劇物取締法： 該当なし
- P R T R法： 第 1 種指定化学物質 ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル (C=12-15 及びその混合物に限る) (100%)

16. その他の情報

引用文献：

1. 各原料メーカーの MSDS、SDS
2. 安全衛生情報センター他 MSDS、SDS
3. JIS Z 7252、7253
4. その他法規

記載内容の取扱い： 記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しております。

注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。